



譜面をみながら

ピックも軽やかに

中央公民館では、潤いのある豊かな社会を築こうと冬季講座を開
設していますが、なつかしい音色を響かせる大正琴講座には約20人
が参加。楽器の持ち運びが便利なことと数字譜ということから、年
配者でも短期間でマスターできるもので、講座では「荒城の月」や
「越天楽」などを、講師の指導で熱心に修得。六回の講座で合奏で
きるまでに上達し、ピックのさばきも軽やかでした。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

1月31日現在	(前月比)
総人口 24,863人	(7人減)
(出生 16人	転入 33人)
(死亡 14人	転出 42人)
男 12,090人	(4人減)
女 12,773人	(3人減)
世帯数 7,310世帯	(5世帯増)

青年と町行政を語る会

男子型の企業誘致に努める

太鼓の里づくりでプロジェクト



青年の考えや意見・要望を町政に反映させようと、町連合青年会（藤田寿人会長）では、二月十二日午後七時から「町行政を語る会」を開催。二十三人が出席して建設的な意見を述べるとともに、身近かな町政を熱心に学習していました。

町行政を語る会には、仕事を終えた青年と、町当局から出川町長、成田収入役、中嶋教育長のほか各課室長が出席して、住みよい町づくりを指して真剣に質疑が交わされました。

最初に藤田寿人町連青会長があいさつした後、出川町長

が行政全般にわたって報告。

佐藤伸町連青事務局長の司会で語る会が進められました。

主な質疑の内容は次のとおりです。

▽今春の町長選挙で立会演説会を開いてほしい。昭和五十八年に公職選挙法が改正になり、立会演説会は開けなくな

った。

▽地域おこしについて。町政のみならず、全町民が真剣に考えなければならぬ問題だ。

商業活動や企業誘致も地元の

資本を生かすことが必要。農

業も畑作転換圃場整備をし畑

作に切り変え、大型農業に対

応した基盤を整備しなければ

ならない。林業も外材に対抗

した長期材期が望まれる。

▽全町の側溝整備について

一地区を集中的に実施する訳

にはいかない。順次計画的に

整備したい。

▽今泉のグランド沿いにガ-

ドレールを設置してほしい。

▽今泉運動公園の整備。貯水

■1日(月) 鷹巣阿仁地域

おこしフォーラムが合川町

で行われ、約千人近い参加

者で賑わった。従来のシン

ポジウムと多少趣きを異に

した、身近な問題に内容を

限ったのが特色。同時に圏

域内の特産品の即売と、臨

時市場がつけ加えられた。

■4日(水) 鷹巣町協力委

員会全体会議。年一回開か

れるこの会は、町の協力委

員百十人余りが出席。長年

就任者の表彰と、当面の町



町長日誌

出川禮一

2月1日～15日

行政課題の報告および連絡事項が主であった。

■5日(木) 鷹巣町食料供

給基地推進大会。現状の厳

しい農業状況と、地場産業

不況の現状分析、今後の課

題への取り組みなど、事例

発表をふまえた真剣な討議

であった。

■7日(土) 北秋田郡町村

会定期総会が行われたあと、

能代市で山本郡町村会との

交流会が開かれた。山本と

の会合は二年ごとの約束で

あったが、こころは四年ぶ

りの開催。主題は県北地区

飛行場問題で意見の交換が

行われた。大方の意見は、

今後三市を含めた協議が必

要とのことであった。

■9日(月) 町議会全員協

議会。明利又の温泉開発

で工事中の、作業の状況報

告と今後の対応について協

議。当初五百坪の予定であ

ったが更に二百坪掘りさげ

ることになった。

■11日(建国記念の日) 町長杯争奪県北中学校柔道大会で、鷹巣中は二年ぶりの優勝を果した。

この日、建国記念を祝う会の主催で、建国記念の日の奉祝会が開かれ出席した。

■13日(金) 鷹巣地区交通安全協議会総会。依然として交通事故が減少していない今日、自からの問題として、事故防止に真剣に取り組むことになった。

池、水路を整備し、半分は将来遊園地にしたい。

▽青年が交流できるバーラー（談話室）をつくってほしい

▽建設が予定されている広域交流センターは、鷹巣阿仁部の若者から老人まで利用できる。

▽「太鼓の里・鷹巣」づくりを積極的に進めてほしい▽官民を問わず行動を起している。「太鼓の会館」づくりでプロジェクトをつくって進めており、公設の建物にし運営はみんなの意見を聞いて実現したい。若者のパワーを期待する。

▽スノータイヤのレース場をつくってほしい▽調査しないとわからないが現実的にはむずかしい。

▽図書館をもっと利用しやすいようにしてほしい▽六十四、五年度に建設の予定。現在は小中高生で児童文学や図鑑書の利用が多い。もっと若者も利用してほしい。

▽中央公園が四季をとおして楽しめる場所にしてほしい▽樹木の植栽は無理だが、さつきやあじさいなどは可能だ。冬の堤の水は危険で実現不可能。野球場のナイターについては検討してみたい。

▽下水道を整備してほしい▽鷹巣橋の改修工事

国の米代川流域計画からは除外されたが、公共下水道事業に沿って排水路、側溝を整備している。

▽公民館に青年会の広報板がほしい▽ロビーのパネルや児童公園入口の広報板も利用してほしい。

▽奨学金制度をもうけて若者の定着を図ってほしい▽金を出しても地元定着はむずかしい。

▽薬師山スキー場のヒュッテを整備してほしい▽外内装について整備したい。

▽流雪溝をつくってほしい▽検討してみたい。

▽一〇五号線バイパスの開通とアクセス道路（あけぼの町）の整備について▽小森くあけぼの町間は、ことしの十月に開通予定で、あけぼの町は用地交渉で難航しているところもあるが、同じ時期に供用開始したい。

▽米代川河川敷の運動公園の見通し▽六十五年まで計画的に整備するので、完成しだい利用できる。



あけぼの町線の拡張工事

を行ってほしい▽町移管になる時点で県に交渉する。

▽南中跡地に企業誘致をしてほしい▽取り付け道路を拡幅しなければならぬ。小規模でも男子型が望ましいし、町地場産業と関連する企業がほしい。

▽海外研修に補助してほしい▽研修を深めるものであれば積極的に援助して行く。

▽竜ヶ森キャンプ場の整備を▽飲料水とトイレが必要だ。

▽行政改革について▽サービスの低下にならない範囲で、民間委託を実施し民間の活力を生かしたい。

栄地区の『町長と語る会』

米代川の栄橋の架設を要望



について▽米代川橋の橋は以前に移設協力を得られなかったことから、十年間は凍結という経緯がある。米代川の河川改修との関連があるので、国や県と交渉しなければならぬ。県道・大館く鷹巣線は、田沢から板沢方面にぬける計画であり、当面、田沢から広域林道間を、自衛隊に協力要請して工事開始したい。

栄地区の「町長と語る会」は、二月十日午後一時半から、栄生活改善センターで開催されました。

語る会には、集落や各団体から七十人余りが参加して、二十項目にわたって要望や意見が出され、出席した町長や関係課長から答弁されました。

主な内容は次のとおり。
▽県道・大館く鷹巣線の事業促進と、米代川橋の架設

▽広域林道の草払い▽林道愛護会を結成して協力をいただきたい

おたしかめください

児童手当の支給年齢が変わります

児童手当制度が昨年六月一
昨から改正され、支給対象年
齢が毎年、段階的に変わって
います。

一年目の現在、三人目の
義務教育終了前の児童に加え、
二人目の満二歳未満（昨年六
月一日現在）の児童にも支給
されていますが、二年目の（昭
和六十二年四月一日から昭和
六十二年三月三十一日までの
間）実施方法は次のとおりと

なります。

（受給資格者は）

▽第二子分 五十八年四月二
日以後生まれた児童（六十二
年四月一日現在で満四歳未満
の児童）を含む二人以上の児
童（十八歳未満）を養育して
いる方▽

▽第三子以降分 五十八年四
月二日以後に生まれた児童（六
十二年四月一日現在で満九歳
未満の児童）を含む三人以上
の児童を養育している方

▽三年目（六十二年四月一
日）以降の支給対象 第二
子、第三子分以降分ともに
小学校入学前の児童を養育
している方

請求などの手続き

受給資格のある人は手続
が必要で、

手続きをしない場合は、
受給資格があっても支給を
受けることはできません。

新制度により六十二年四
月一日において受給資格の

生ずる人は、三月三十一日ま
でに認定請求書を福祉係に提
出してください。

なお現在、二人目のお子さ
んに児童手当を受けている方
はそのまま該当になりますの
で手続の必要はありません。

また三人目以降のお子さん
に対して手当を受けている方
も同様ですが、五十八年四月
二日以降生れのお子さんがい
る場合は、額の改定請求手続
が必要で、

手続きに必要なもの

印鑑、申請者名義の預金通
帳、国民年金加入者の方は国
民年金手帳、保険証です。

▽支給額は 児童手当の額は、
二人目月額二千五百円、三人
目以降は一人につき月額五千
円が支給されます。

▽請求の受け付け 三月一
日より行います。

くわしくは町民課福祉係（電
六二一一一…内線一二五）

夜間当番医（夜間診療）の日程表

（午後6時30分～9時）

3月	曜日	医療機関名
1	日	佐藤外科消化器科医院
2	月	盛岡医院
3	火	戸嶋医院
4	水	鷹巣病院
5	木	戸嶋産婦人科医院
6	金	近藤医院
7	土	北秋中央病院
8	日	奈良医院
9	月	佐藤外科消化器科医院
10	火	藤原医院
11	水	戸嶋医院
12	木	佐々木産婦人科医院
13	金	北秋中央病院
14	土	戸嶋産婦人科医院
15	日	盛岡医院

（急患以外は受けません）

町・県民税申告相談日程表

月	日	申告会場	申告相談時間		受付時間
			午前9時～正午	午後1時～4時	
2月	沢口林業センター	小森	小摩当、上野		午前8時～午後4時
3月	火	〃	藤株	脇神	〃
4月	水	〃	堂ヶ岱	中屋敷	〃
5月	木	役場大会議室	▲税務署申告者（税務署からの通知者）税理士会		
6月	金	坊沢公民館	深岡・上町、	羽立	〃
7月	土	〃	相善町	街道町 新屋敷町	〃
8月	日	〃	大町、黒沢		午前8時～正午
9月	月	二本杉会館	岩谷、二本杉		午前8時～午後4時
		坊山部落会館	湯ノ岱、坊山、四渡		
		吉ヶ沢深沢会館	下舟木、吉ヶ沢、深沢		
10月	火	緑ヶ丘担手センター	蟹沢、佐助岱	緑ヶ丘	〃
11月	水	役場大会議室	※葉たばこ耕作組合		午前7時～11時
12月	木	〃	※指定日に申告できなかった人（14日は午前中のみ）		午前7時～午後4時
13月	金				
14月	土				
15月	日				

おしらせ

農耕用軽油の
免税証を交付

農耕等に使用する軽油引取
税免税証の申請及び交付を次
のとおり行います。

なお、交付する免税証がオ
フィスコンピュータで作成
されるため、申請書受付から
数日後に交付となります。

おいでの時には、次の関係
書類をご持参ください。

◆新規申請者

▽農耕用機械の所有証明書(販
売業者からの購入証明書等)

▽耕作面積の証明書(農業委
員会の証明書)

▽申請者の印鑑(共同の場合
は全員)

▽手数料(三五〇円県証紙)

◆継続申請者

▽免税軽油使用者証
▽耕作面積の証明書

▽申請者の印鑑

▽前回購入した免税軽油の納
品書又は石油販売店からの証
明書(数量が二百リ以下の方
は不要)

◆免税軽油使用者証の有効期
限が切れている場合(今年中
に切れる場合も含む)や農耕
用機械に変更がある場合は新
規扱いとなります。

◆申請書受付日時〓三月二十
日(午前十時から午後二時三
十分まで)

◆免税書交付日時〓三月二十
七日(午後一時から三時まで)
※場所はいずれも中央公民館
です。

停電のおしらせ

三月の作業停電は、次の地
区です。

▽6日〓坊沢地区一部、黒沢
前山(午前九時から十一時)

固定資産課税台帳の縦覧

昭和六十二年度の固定資産税の課税の基礎となる固定
資産課税台帳を、次により縦覧いたします。

▽期間〓三月一日から三月二十日まで。平日は午前八時
三十分から午後五時十五分まで、土曜日は零時三十分ま
で、ただし日曜日は除きます。

▽場所〓役場税務課

秋田東高校で通信
制課程の生徒募集

秋田東高校では、通信制課
程の生徒を募集しています。

通信制は、働きながらも
勉強できるようにっており
月二回程度のスクーリングに
出席するほかは、自宅で学習
が進められるような制度にな
っております。

修業年限は定時制と同じく
四年以上で、県立秋田東高
等学校卒業資格がとれます。

募集期間は三月二日から四
月三日まで、募集人員は三百
人です。

くわしいことは、秋田市中
通六丁目六番三六号、秋田県
立東高等学校通信制課程(☎
〇一八八―三四―〇四七三)
へお問い合わせください。

納めましたか

国民年金の保険料

私たちの老後を楽しくすごすために、国民
年金制度は大切な役割を果たしています。

国民年金制度は、みなさんが加入し、一人
ひとりの保険料でまかなわれるものです。保
険料は、期日に遅れないで必ず納めましょう。



保険料——月額7,100円

選挙の問い合わせは

鷹巣町選挙管理委員会では、県知事、県議
会議員、町長選挙事務執行のため、事務局を
鷹巣町役場二階小会議室に設けております。

不在者投票や選挙用務の問い合わせは、役
場(☎62-1111内線271)の電話と、臨時
電話(☎63-1149)をご利用ください。





葛黒の火まつりかまくら

いまも

伝えられてい

古くから伝わる旧暦の小正月行事が各地で開催され、思い思いの催しで賑わっていました。

旧暦の一月十四日にあたる二月十一日には、葛黒地区で恒例の「火まつりかまくら」が行われ、午後七時から生活改善センター裏で、神木に稲ワラや豆がら、笹をくくりつけ、ミニカマクラにお供えしたあと点火し、幻想的な光が暗夜を照らし、集落総出で無病息災を祈願していました。

また十二日には、綴子で雪中田植えをして豊作を祈るとともに、太田でも祖父田と孫たちが旧正月を楽しむ会を開催。雪中田植えやオヤキづくり、おて玉、羽根つき、コマまわし、タコあげ、あやとり、まりつきなど、子供たちに昔の遊びを伝えていました。

七日市では十五日に「どんと祭」を実施。しめ縄や、門松などが粗末にならないように浄火するもので、老人クラブや子供会などが参加して行われました。



婦人が総出で甘酒やおでんのサービス（葛黒）

▶家々ごとにミニかまくらに供物をあげて安全祈願（葛黒）





◀ 豊作の願いを込めて綴子農協青年部が雪中田植えを実施

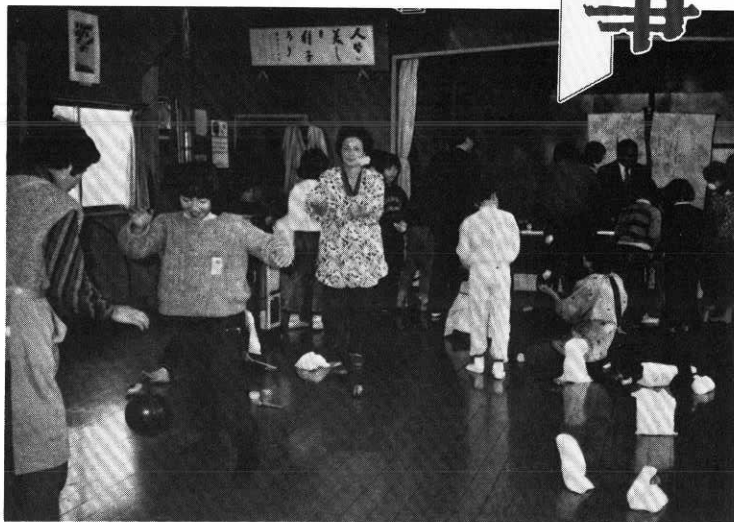
▶ ことしはじめて行われた
「どんと祭り」(七日市)



▼ 子供もなれない手つきで
オヤキづくり



▼ まりつきやおて玉を子供といっしょに



心に響く小正月行事

会議や会合では 灰皿を撤去しよう

健康づくり推進協議会



健康づくり推進協議会（藤島米治会長）は、二月十三日午後一時三十分から、中央公民館で十八人の委員が出席して開催されました。

六十一年度事業の中間報告では、胃がんの増加と、中学生など若い人の糖尿病、貧血が増えており、減糖や減塩の重要性がのべられました。

このため、成人病対策として検診率を高める努力と、食生活改善の呼びかけを行うことになり、乳幼児にはムシ歯のないよい歯を保つため、乳児検診と正しい歯のみがき方などを、指導することになり

ました。

また、昨年の五月三十日の同協議会で、役場の諸会合で禁煙を申し合せましたが、徹底されていないことから、再度、強力に要望することになりました。

たばこの害については、あらゆる機会をとらえて発表されていますが、肺ガンの発生については、吸う人（二十本以上）と吸わない人では五倍以上になっております。

また、たばこは嗜好品でするので、吸う自由もありますが、人口の三分の二の人が吸っていないため、吸わない人の気

づかいも必要です。酒は量を加減することによって、百薬の長になりますが、たばこは百害あって一利なしといわれます。

ましてや、会議などで多人数が吸うと、まったくたばこ縁のない人まで、煙を吸わされてしまいます。

このため、会議ではたばこを吸わないこと。会議が二時間を越すときは、休憩時間をもうけるとともに、喫煙場所をもうけるなどして、参加者の健康管理にも配慮してほしいという結論に達しました。

健康については自から考えるものですが、たばこのように他人に迷惑をかける行為は謹しまなければなりません。

健康づくり推進協議会では役場や公民館、北秋田総合庁舎など官公庁で行われる会議などについては、灰皿を撤去してたばこを吸わないよう指導していただくとともに「禁煙」のステッカーなどを貼って、協力を呼びかけることになりました。

ただし喫煙者のために、適当な時間と場所を与えることによって、両者の要求を満たされることになり、家庭や職場でも工夫してみてください。

郷土史年表

西暦	昭和	和	時	代	事	項
一九八二	昭和五七				○九月四〜五日 発明工夫展 〓 チッコアイデアマンの秀作 八十五点が出品	
					○九月十九日 クリーンアップ 〓 大	
					人から子供まで 三千二百人が参加	
					道路や河川、集会所の回りを清掃	
					○九月三十日 陣場岱農免農道、摩当	
					団体営農道が完成	
					○十一月一〜三日 文化祭・産業祭 〓	
					期間中は、一万四千人の出入を記録	
					体育館前のミニ蒸気機関車に人気集	
					中	
					○十一月二日 鷹巣地域産業青年部シ	
					ンボジュウム。秋田県知事 佐々木	
					喜久治氏の記念講演	
					○十一月二十二日 田子ヶ沢セリ集荷	
					場が完成	
					○西小学校が図書館活動で「学研教育	
					賞」に輝く	
					○東北北海道民謡大会で河田カツ子さ	
					ん（松葉町）が「民謡大賞」を獲得	
					○十二月一日 新田中に町営住宅十二	
					戸が完成	
					○一月二十二〜三日 全県中学校スキ	
					ー大会（鹿角市）で、鷹巣中学校女	
					子が初優勝	
					○二月一日 老人保健法が施行	
					（次の号へつづく）	



地域ぐるみで事故防止を

交通事故のない明るい社会を築こうと、鷹巣地区交通安全協会（津谷栄七会長）は、総会を2月13日午後から中央公民館で開催しました。優良運転者の表彰や、安全運転功労の個人と団体に感謝状を贈呈。審議では、死亡事故ゼロをめざして、

「正しい交通ルールとマナー実践」を呼びかけ、地域ぐるみで事故防止に取り組むことになりました。

毎月5日は「少年の日」に設定して、少年保護育成委員会では、健全育成を願って定期的に街頭や列車補導を実施。少年の非行防止に努めていますが、家庭でのしつけや思いやりが大切ということから、2月5日の昼食時にガクヤテキスタイルで「理由ある反抗」を放映。育ち盛りの児童心理を解明。非行防止の話題を提供していました。

映画で少年の非行防止を



協力委員の八氏を表彰す

協力委員会全体会議は2月4日1時半から、中央公民館で開催されました。会議には110人余りが出席。町長が町行政全般について報告したあと、住民とのパイプ役として7年以上活躍してこられた大川勇治、小塚信一、熊谷正三郎、亀山光雄、

出川春治、中林藤吉郎、小塚定美、石川太永治の各氏を表彰。その後、慰労の懇親会となりました。



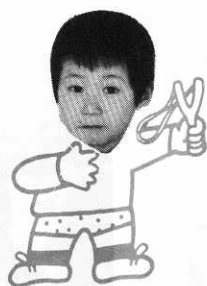
林業の活性化を求めて町地域林業シンポジウムが、2月17日役場三階で開かれ、150人を越す林

業家や木工、製林関係者などが参加。講演ではアメリカやカナダの木材構造建築の現状にふれ、プールやテニスコートのドームは湿気に耐える木材が最適と強調。午後は、特用林産と良質材生産の技術・経営の部会に分れて実習しました。

町の林業の活性化を求めて



の広場



南鷹巣保育園
畠山 司くん (6歳)



中央小学校長
松橋 範夫氏

これまで「お年玉の使いみち」をテーマに、それぞれの方から感想を述べてもらいましたが、みなさんの感想や考えが生かされるようにというところから、中央小学校長・松橋範夫先生から助言していただきました。

この項の執筆を依頼され、とりあえずお年玉について調べてみることにした。
高学年は一人平均二万円、低学年は一万五千円というところであった。これは平均なので、中には七、八万円の子

もかなりいることになる。
大人の半月分の給料に近い子もいるわけでびっくりした。私の記憶には、家族は父親、あとは親戚と来客からが残っている。今も父親の一位は変らないが、次に祖母、母親、祖父の順で、それも競いあってくれているような節がある。使い方をみると、貯金が断然多く六〇％、次はスキーとスキーの用具で二〇％、三位が流行のファミコン類だが、八％止まりで予想以上に堅実なほうとした。



ヒメアオキ

(ミズキ科)

日本海側の多雪地帯に分布する常緑低木。山地の林内に普通に見かける。

葉は民間薬として、弱火であぶりやわらかくして、やけど、はれもの、凍傷につける。

(七日市 畠山 益 穂氏)

わたしの自慢

山に生きる七日市の白炭やき

下舟木・藤原多嘉夫(50歳)

昭和二十年代の都会での暖房は、ほとんどが木炭を利用していたので、村の大半が炭焼きに従事していたのですが、石油、ガスなどが輸入され、熱エネルギーに変化をきたすとともに、木炭の需要は落ち込み炭焼きガマも山から姿を消してしまいました。

私も時代の流れから、農業を終えると山林の伐材や私も仲間とともに昨年、集落から四*ほど離れた雑木林で、木を切り出し冬山で仲間二〜三人と炭を焼くようになりました。カマに木を入れて火を付け五日間ほどで製品になりますが、なんといっても火かげんに気をくばります。



せっかくの木炭が売りのものにならないこともありました。いまでは技術も一定し、需要に応じた安定供給できるまでになりました。



南鷹巣保育園
花田枝里子ちゃん（6歳）



みんな

以下衣類小物三％、マンガ玩具、食べ物と続くが、残念ながら子ども心の豊かにするといわれる「本」は二％だった。

使い方をみると、今泉の簾内陽子さんのように、高額のお年玉を前にして、親と子の語り合う姿が、なんとなく見えてくる数字である。

「使い道」をめぐる話し合いの中で、我が子が今何に興味をもち、どんな考え方をしているのか垣間見ることが出来たら、子育ての基本にかかわる大きな収穫であると思う。

「あれも駄目、これも買うな貯金しなさい。」では子どもの夢をむしり成長の芽をつむこ

とになりかねない。

話し合いの中で、子どもの希望や夢がふくらんで来ると一時の衝動が消え、より高い次元のお金の生きた使い道が開けてくるものである。

その時親は、お金にかかわるありったけの知恵を押しこもうとしないで、とりあえず子ども時代にもどり、ひたすら聞き手にまわってほしい。

そのことから、買った物に値段以上の価値が付与され、東小の松尾君のような野球にかけた夢の実現の為の「貯金」など、その子の夢を満たすその家、その子なりの使い道が生み出されるにちがいない。

広報のこもり

耳の日 三月三日は「耳の日」。

ふだんは忘れられがちな耳ですが、いつも清潔に、大切にしておきたいものです。

耳の掃除には、耳かきを使いますが、耳の内部は柔らかく傷つきやすいので、硬い耳かきを使ってこするのは避けたいほうがよいというのが耳鼻科医の話です。耳あかは自然に外に排出される仕組みにな

っていますから、耳の入り口を綿棒でふいておくだけで清潔は保てます。

異常に柔らかい耳あかがでたり耳なりがしょつちゅう起きる場合、カゼ気で耳が痛い場合などは、耳の病気が考えられます。また、耳自体に病気がなくても、口の中やへんとうせんが炎症を起していれば耳に痛みを感じることがあります。

早目に専門医に診てもらうようにしてください。

写真は、昭和30年代の町の姿で、右側の建物が旧鷹巣保健所である。当時は小路の除雪が完全でなかったため、春になると泥だらけになるなど大変であった。服装もカッポウ着にカスリリのモンペ、ツマカワのゲタ。また買物入れは手カゴであった。（福原剛氏提供）



たかのすの昔





一線美術会連合会 九島堂二氏

三月の健康相談

三月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、十一日と二十五日です。

時間は午前十時から午後三時まで。血圧測定のほか、尿検査、体重測定など行います。また、午前中は健康教育で、生きがいのある老後、家庭看護について、午後は健康体操など行います。



母子健康手帳交付と妊婦健康指導は二日と十六日です。

受付時間は、午後一時から一時三十分、指導は三時まで。必ず本人がおいでください。※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。



乳児健康診査は、二十六日です。

対象は六十一年十一月生まれのお子さんです。

小児ガンの早期発見の検査もしますので、必ず受診してください。



離乳食指導と七カ月児健康相談は二十六日です。

対象は六十一年八月生まれのお子さんです。

受付時間は、午前九時三十分から十時まで。おいでの時は母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

つごうで受診できない場合は次回に受診してください。



三歳児健康診査は、五月です。

対象は五十九年一月、二月生まれとなっています。

受付時間は、午後零時四十分から一時三十分まで、母子健康手帳間診を持参ください。

※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

麻疹(はしか)の予防接種

麻疹(はしか)の予防接種を二月十日から十三日まで行います。

対象者は六十二年三月十日現在で、生徒十八カ月から三十六カ月になる幼児(ただし生後十二カ月から七十二カ月に至る幼児も受けられます)です。

接種時に必要な接種券の交付は五日・六日の二日間、中央公民館、保健相談室で交付します。

時間は午前九時から午後三時まで、母子健康手帳を持参してください。

接種日程、担当病(医)院は次のとおりです。

▽10日 藤原医院

▽11日 奈良医院

▽12日 北秋中央病院

▽13日 戸嶋内科医院

母親教室の開設

妊婦を対象とした、母親教室は次のとおりです。

妊娠中から正しい知識を身につけて、充分な健康管理を行い、安心して出産をむかえるようぜひ受講してください。

場所は、中央公民館保健相談室です。

▽日時 三月十九日、午前十一時から午後三時まで。
▽場所 中央公民館保健相談室です。

▽受講内容 映画(すばらしい母乳)、講話、実技(妊婦体操、赤ちゃんのお風呂の入れ方)など行います。

※母子健康手帳、トレパン、テキスト、昼食をお持ちください。

成人病予防の講演

町では、冬季成人病予防事業として「生き生き健康教室」を開催しております。

内容は主に講演が中心、毎回医師や大学教授等を招いて講話します。

日程は次のとおりです。

▽三月四日 塩田孝一氏(西医学研究家)「健康法について」

▽三月十二日 茂泉陽子氏(秋大教育学部助教授)「ばけ子防と家族の対応について」

場所はいずれも中央公民館三階大教室、時間は午後一時から三時までです。

※三月十二日午前十一時から正午まで「ばけ子防相談」も行います。

場所は、中央公民館保健相談室です。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。
▽松葉町 吉田隆一さんから亡妻イナさんの香典返し
▽七日市本郷 長岐益雄さんから亡祖母アサさんの香典返し

慶弔だより

2月1日～2月15日

誕生おめでとうございます

渡辺 広也(純一 二男)川口

藤島 由貴(稔 二女)舟見町

近藤多鶴子(正美 二女)住吉町

田村 一樹(仁一郎長男)太田

二人の前途を祝福いたします

三国 徳雄 緑ヶ丘
市川 ひとみ 舟場

おくやみ申しあげます

熊谷 彦治(83歳)前山
武田富治郎(57歳)深閑
佐々木ユキ(61歳)緑ヶ丘
佐藤 洋悦(33歳)坊山